

ディスコグラフィー収録

ディスコグラフィー【2015No.25】(HP 収録)

分類：CD

作曲家：ウジェーヌ・イザイ

曲名：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ op.27

演奏：千住真理子

発売：ユニバーサルミュージック

No. : UCCY-1048

概要：



千住真理子のイザイの無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 全曲の CD の紹介です。

- (1)ソナタ第1番ト短調
- (2)ソナタ第2番イ短調
- (3)ソナタ第3番ニ短調「バラード」
- (4)ソナタ第4番ホ短調
- (5)ソナタ第5番ト長調
- (6)ソナタ第6番ホ長調

この CD はデビュー40周年記念企画ということで、今回の関連ツアーを聴いてきた時に購入しました。

http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/?page_id=21

イザイの無伴奏ソナタの生演奏はヒラリー・ハーンの演奏を聴いたことがあり、CD と BS 録画では南紫音の演奏を聴いています。千住真理子が使用しているストラディヴァイリス・デュランティとの出会いはよく知られており、デュランティで弾くイザイがどのようなものかが聴きどころです。

<http://marikosenju.com/profile/>

<https://www.youtube.com/watch?v=Ns1Fp9I6xsQ>

まず、生演奏の印象ですが、何と言ってもデュランティの音が豊潤で深い音がしました。

千住真理子と言えば、小品やイタリアバロックものという印象がありましたが、このイザイで新境地を開拓した感がします。アンコールでバッハの無伴奏パルティータ 1 曲を聴きましたが、40 周年記念企画の一環として無伴奏パルティータ集も出るようですのでこれも楽しみです。では、CD はどうかと言えば、HQPlayer と micro iDSD により DSD にリアルタイム変換して聴くと、生演奏の雰囲気は忠実に再現できています。一方、南紫音の CD と BS 録画は、使用楽器は、サントリー芸術財団より貸与された 1727 年製ストラディヴァリウスとのことですが、千住真理子のストラディヴァリウスとは、はっきりヴァイオリンの音が違うということが分かります。ある意味、こちらの方が耳慣れたストラディヴァリウスという印象です。演奏は、若いだけにフレッシュではあるもののもう一步音楽の熟成感がほしいところで、千住真理子の演奏は味わい深いものです。